

地域経済の活性化と市民生活の安定を優先に

62年度

一般会計  
特別会計  
企業会計

当初予算

骨格編成で280億1,289万円

六十二年当初予算は、四月に市長、市議会議員選挙が執行されるため、義務的経費や市民生活上緊急を要するもの、継続事業などを組みこんだ骨格予算となりました。しかし、地域経済が依然として低迷状態にあるため、骨格予算には地域経済の活性化と生活環境整備などを図るための予算も盛り込んでいます。  
歳入では、六十年から行われている国の補助率の引き下げや、円高による経済の低迷や鉱山不況により、市民税や鉱産税、電気税など市税収入も大きな伸びを期待できない状況下にあります。このため歳出も昨年度に引き続き物件費や補助金、賃金などの見直しを行い大幅な削減をしています。  
六十二年当初予算の中から主なものをお知らせします。

産業と観光が調和する  
活力のあるまちづくり

商工鉱業の振興

- 商工金融対策
  - 中小企業融資あっせん基金預託金(三千五百万円増額)、中小企業金融対策預託金(二百万円増額)、特定地域中小企業対策保証料補給金(新設)、貸付機械購入費(四百万円増額)など 七億七、五五〇万円
  - 非鉄金属探鉱補助金八九四万円
  - 中小企業経営改善不況対策補助金 二二五万円
  - 産業祭補助金 三〇〇万円
  - 企業誘致対策 六二〇万円
  - 商工会議所、花矢商工会補助金 二七五万円
- 農林業の振興
  - リンゴ、ナシ選果場設置補助金 四、九八八万円
  - 農道整備事業 一億一〇六万円

観光事業の促進

- 野菜価格安定補償負担金 一五〇万円
- 転作定着化補助金 八〇六万円
- 林道開設事業 五、一六五万円
- 一万本桜事業 一、〇〇六万円
- 家畜導入事業補助金三九九万円
- 農業集落排水事業(特別会計) 一、五二五万円
- 観光協会へ補助金 一、一六〇万円



今年の大館さくらまつりは4月29日から

安全と健康のまちづくり

安全の確保

- 交通安全対策事業
  - カーブミラー、ガードレールの新設、交通災害共済補助金など 一、七五六万円
  - 広域消防負担金 四億七、三九二万円
  - 防火貯水槽の新設 二、三二〇万円

健康を守る

- 各種予防接種、検診事業
  - 結核予防、一般検診、婦人ガンを検診、麻疹接種費など 七、五一六万円
  - 市病高等看護学院負担金 三、六六〇万円

市民参加と平和なまちづくり

市民参加と広報

- ラブ大館ありがとう運動、クリーン市民会議の補助金三七七万円
- 世論調査費 五八万円
- 広報広聴費 一、二四三万円

平和運動

- 平和祈念事業 四五万円

観光案内図、観光ポスター作成費 一九二万円  
観光基金へ積立一、〇四二万円

市長の対話ノート



No.150

さわやか菜園

今年もまた有浦と南ヶ丘の市民菜園が始まります。

ところで最近の生活者(消費者)の要望に「安くて、良質」は当然ですが更に「安全性」という声が強くなってきました。公害食品やエイズ問題の不安からすれば当然のことです。

菜園で野菜をつくって一番先に気づくのは、有機質(堆肥)をたくさん使った畑には病気がつかないこと、病気がつかないから消毒薬を使わなくてもよいこと、消毒薬を使わないから安全な野菜が生産されるということですが、そのことは農家の皆さんが知っていることですが「安いの」「きれいなもの」という要望に応えるために直接目に見えない堆肥が軽視され、農業に頼る農業になってしまっているのです。したがって、生産者と消費者がこの本質を本音で話し合えば安全で安くて良質の野菜はできるのです。

私は農業者には「人は土をつくり、土は作物を育て、作物は人の生命」という言葉を贈っています。

さあ、春です。土を通して作物や自然を知り、菜園を通して利用者の交流を深め、汗を流して労働の尊さを認め合い、生産物を分け合って親睦を強め、食卓を囲んで一家団らんを輪にしましょう。一年間のご活躍をお祈りします。

伊山健治郎